

# 第4期科学技術基本計画への 日本学術会議の提言



平成21年(2009年)12月16日

日本学術会議会長 金澤 一郎

# 本報告の構成

---

1. 第4期科学技術基本計画に向けての日本学術会議の基本姿勢
2. 安全な社会・持続可能な社会に向けた学術政策
3. 基礎的・基盤的研究の推進のための政策
4. 統合的研究および応用研究の推進のための政策
5. 大学と、若手・人材育成、教育、人材活用に関する政策

# 1. 第4期科学技術基本計画に向けての 日本学術会議の基本姿勢（基本的立場）

---

- ・ 国の長期的発展のための「学術政策」を確立

- ・ 文理統合の促進により社会的要請に応える

- ・ 研究統計データを組織的に取得分析する  
体制の構築と科学に関する用語概念の  
国際基準を踏まえての整理

## 2. 安全な社会・持続可能な社会に向けた学術政策

---

### 安全な社会のために

- ・「安全の科学」の構築、先進技術の社会影響評価の確立

### 持続可能な社会のために

- ・持続可能な社会の構築のための革新的な科学・技術の推進
- ・温暖化など地球環境問題への総合的で長期的な研究・観測・支援体制の構築
- ・地球規模・地域規模の生物多様性・生態系変化の国際的モニタリングネットワーク
- ・世界人口の増加に対処するための食料の確保と食品の安全性の向上

# 3. 基礎的・基盤的研究の推進のための政策

---

## 大学・大学共同利用機関

- ・大学等における学術研究基盤の回復強化  
(例) 運営費交付金、私学助成、基盤施設の整備、修理・更新、効率的利用のための経費
- ・大学等の研究・教育環境改善などの具体的政策
- ・大学等における多様で多彩な研究・教育の育成  
(例) 中小規模の大学等の連携
- ・滞在型国際的研究拠点の実現と強化

## 大型研究・大規模研究の推進

- ・大型研究計画の調和ある推進
- ・新しい研究手法としての「大規模研究」の確立
- ・新たな知の創出のための学術情報基盤の構築

## 基礎と応用の両輪的振興

- ・基礎研究とイノベーション創出目的研究の両輪的振興の推進

## 学術団体への支援

- ・学会などの学術活動への国の支援政策の抜本的強化

## 4. 統合的研究、応用研究の推進のための政策

---

子ども・次世代のための統合的研究の推進

実時間・実世界を対象にした情報システム実現のためのソフトウェア基盤開発

巨大・複雑化する社会経済システムのための統合的科学の確立

- ・ 統合的研究を支援すべき関係府省の縦割りの壁を取り去る

生命現象の統合的理解と福祉のための人間科学

- ・ 基礎研究の成果を医療研究に活用するための基盤整備

# 5. 大学と、若手・人材育成、教育、人材活用に関する政策

## 若手・人材育成

- ・質の保証された多様な高等教育の機会を提供する大学育成のための総合的施策  
(例) 入学年齢・時期、就学年数など柔軟な大学制度
- ・高等教育での人材育成へ向けた公財政投資の充実  
(例) 公財政投資を教育費全体で対GDP比3.3%から約5%へ、高等教育費で対GDP費0.5%から約1%へ
- ・大学院、博士課程就学の奨励  
(例) 研究職業人としての博士課程学生への財政支援の強化

## 教育

- ・専門職教育と研究者養成のバランスよい運営体制
- ・世界に開かれた大学の形成と海外での学びへの支援
- ・高校教育と大学との接続性の改善
- ・総合的な科学基礎教育への取組み
- ・次世代の科学・技術リテラシーの涵養と新リベラルアーツ教育の構築



## 人材活用

- ・**大学院修了者の行政・教員採用の計画的促進**

- (例)・2020年までに初等中等教育教員の新規の採用者の50%以上を修士号取得者に
  - ・20%以上の現職教員に大学院での再教育の機会を提供

- ・**博士人材(ポスドク)の就労・研究環境の改善**

- (例)・大学などにおける若手教員ポストの増加
  - ・若手研究者が機関を移る際の流動化支援経費を新設

- ・**男女共同参画の推進と熟練シニア人材の活用**

- (例)シニア科学者・技術者の知識・経験が生きる仕組み作り

## 情報基盤

- ・**人材育成データベースの構築**